



AT-MC7

設置マニュアル / マイクホンクリーナー

audio-technica

本書では、設置のしかたについて記載しています。
本製品の詳しい使いかたに関しては別紙の取扱説明書をお読みください。

■ 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

警告 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

警告

- ・ **取り付けは必ず専門の施工業者に依頼する**
落下により、けがや事故の原因になります。必ず専門の施工業者に取り付けを依頼してください。
- ・ **以下の場所には設置しない**
 - ドアや他設備を可動した際に接触するような場所
 - 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ぐらついたり、傾いた不安定な場所及び、十分な取り付け強度が確保できない場所
 - 振動や衝撃のある場所及び、車両、列車、船舶等
 - 屋外や海岸、温泉に近い場所
- ・ **落下により、けがや事故の原因になります。**
- ・ **取り付けの際には適切なねじを使用する**
本製品には、机、壁に固定するためのねじ類は付属しておりません。設置場所にあわせて別途ご用意ください。落下により、けがや事故の原因になります。
- ・ **取り付け後にねじは緩めず、定期点検をする**
全てのねじはしっかり締め、故意に緩めないでください。設置環境により経年で緩む可能性もあるため、1か月を目安に点検、増し締めを行って安全を確認してください。
- ・ **取り付けする壁の、材質・強度・厚さを十分に確認し設置する**
壁の材質や構造が、本製品と充電器、マイクホンの重量に十分に耐える強度がある事を確認してください。コンクリート製もしくは、厚さ20mm以上の合板であることを確認してください。石膏ボードの場合は、石膏ボード裏側の材質を調べ、十分な取り付け強度があることを確認してください。取り付け強度を確保できない場合は、必ずたる木(はり)やアングル等で補強して強度を確保してください。強度不足や取り付け不備があると、落下によりけがや事故の原因になります。

取付業者指定商品

本製品は、重量・取り付け方法などにより組立工事の際に落下事故等の危険に注意する必要があります。十分な技術・技能を有する施工業者が取り付けることを前提としている「取付業者指定商品」です。取り付けは必ず専門の施工業者に依頼してください。

事故・損傷について

組立不備、取り付け工事不備、壁の取り付け強度不備、誤使用、改造などによるけがや事故等につきましては、当社は一切の責任を負いません。

■ 設置のしかた

ご使用の当社充電器、マイクホンに合わせてブラケットを取り付けます。設置場所によってブラケット取り付けの順番が変わりますのでご注意ください。

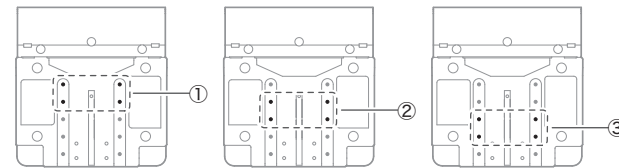
- ・ 本製品のセンサー部から正面20cm以内にマイクホン以外の物を置かないでください。センサー部が物を検知して誤動作する可能性があります。
- ・ 直射日光の当たる場所や窓の近辺、屋外には設置しないでください。誤動作の原因になります。
- ・ マイクホンを2本同時に使用する場合、両方同じ高さのマイクホンを使用してください。

■ 本製品背面のねじ穴選択について

ご使用のマイクホンがロングタイプまたはショートタイプに分かる場合は、次の表を参考に使用するねじ穴を選択してください。

- ・ 充電器が埋め込まれているラックに設置する場合は参考にできません。
- ・ マイクホン(ショートタイプ)一例:
AT-CLM7000TX、AT-CLM9000TX、AT-CLM9000PRO、ATW-T63、ATW-T63PRO
- ・ マイクホン(ロングタイプ)一例:
AT-CLM700T、AT-CLM701T、ATW-T62a
- ・ 上記マイクホンは一例です。他機種については、お買い上げの販売店または当社窓口までお問い合わせください。

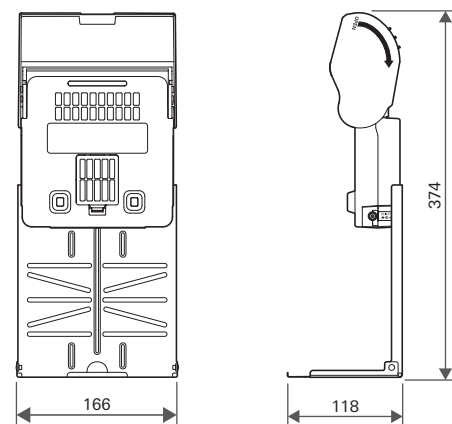
充電器	マイクホン	使用ねじ穴
BC701	ショートタイプ	①
	ロングタイプ	③
BC700	ショートタイプ	②
	ロングタイプ	③



■ 設置スペースについて

次の図は本体にブラケットを最大高さで取り付けた状態の外形寸法図です。設置予定場所にスペースがあるかご確認ください。

(単位:mm)



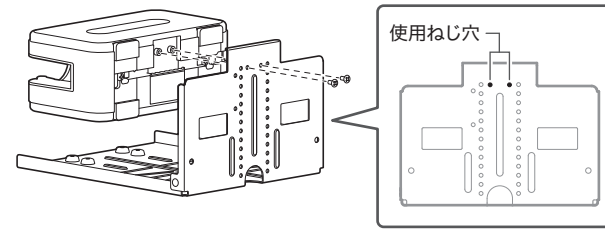
■ 机に取り付ける場合

ブラケットを、充電器→机→本体の順に取り付けます。

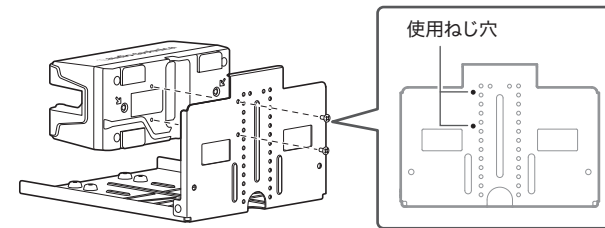
1 付属の充電器固定用ねじで充電器とブラケットを取り付けます。

- ・ ご使用の当社充電器によって、使用するねじ穴が変わります。
- ・ 充電器のACアダプターは接続してから取り付けてください。

BC700の場合

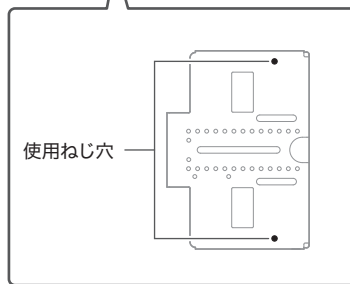
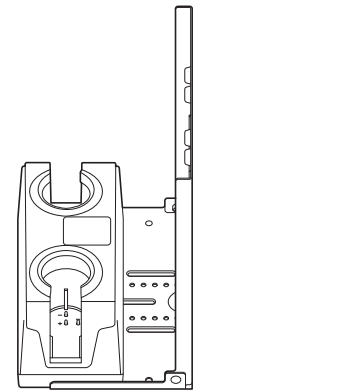


BC701の場合



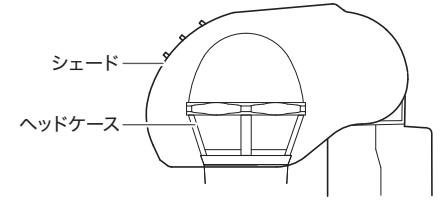
2 机にブラケットを取り付けます。

- ・ 取り付けるためのねじは付属していません。

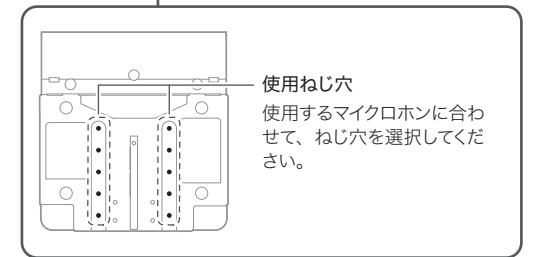
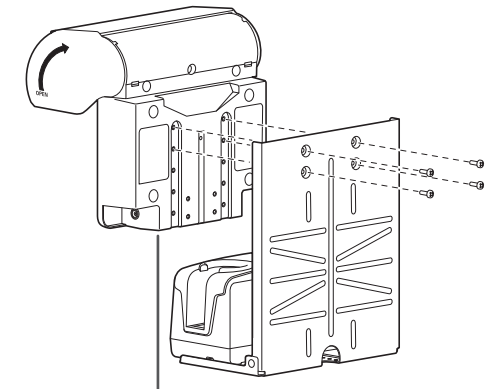


3 ご使用のマイクホンに合わせて付属の本体固定用ねじで本製品とブラケットを取り付け、高さを調整します。

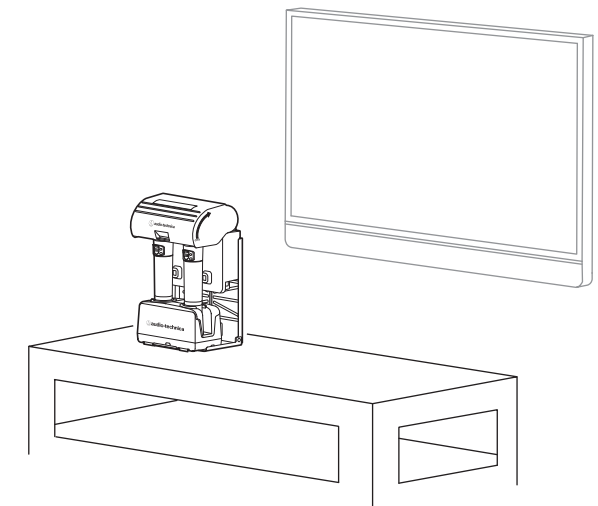
- ・ マイクホンのヘッドケースがシェードに当たらない高さにしてください。



- ・ 高さは4段階の調整ができます。本製品背面のねじ穴よりマイクホンの高さに合ったねじ穴を4ヶ所選び、ブラケットを取り付けてください。
- ・ 推奨の高さは「本製品背面のねじ穴選択について」をご確認ください。



■ 設置例

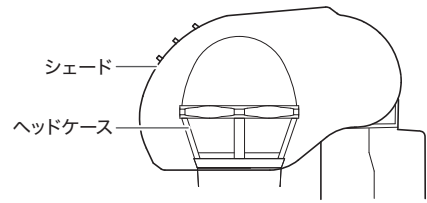


■ 壁に取り付ける場合

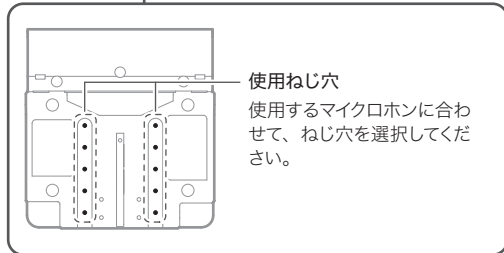
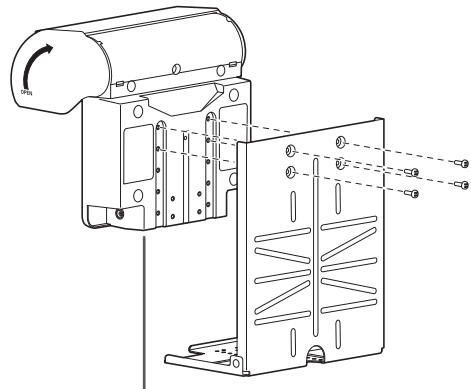
ブラケットを、本体→壁→充電器の順に取り付けます。

1 ご使用のマイクロホンに合わせて付属の本体固定用ねじで本製品とブラケットを取り付け、高さを調整します。

- ・マイクロホンのヘッドケースがシェードに当たらない高さにしてください。

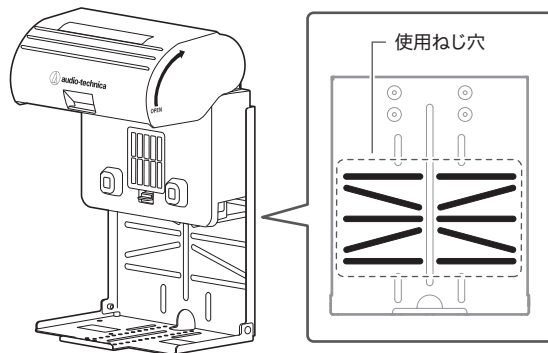


- ・高さは4段階の調整ができます。本製品背面のねじ穴よりマイクロホンの高さ合ったねじ穴を4ヶ所選び、ブラケットを取り付けてください。
- ・推奨の高さは「本製品背面のねじ穴選択について」をご確認ください。



2 壁にブラケットを取り付けます。

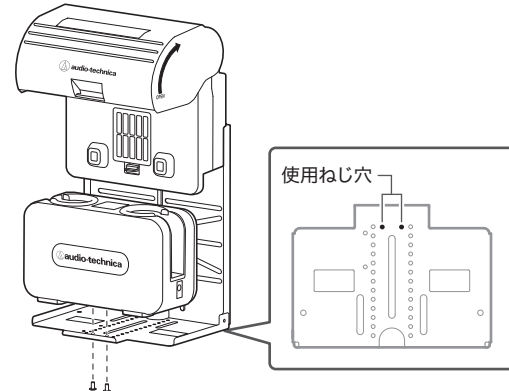
- ・取り付けるためのねじは付属していません。
- ・安全のため、4本以上のねじでブラケットを取り付けてください。
- ・設置する際は、強度が充分にある場所に取り付けてください。落下の原因になります。



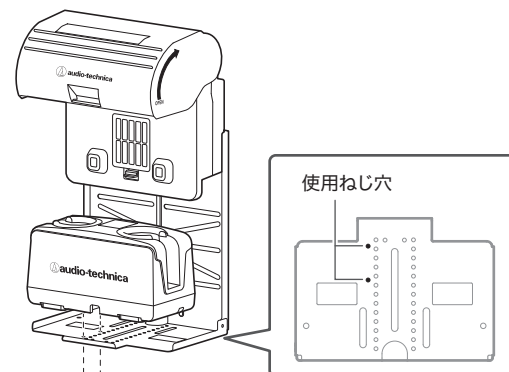
3 付属の充電器固定用ねじで充電器とブラケットを取り付けます。

- ・ご使用の当社充電器によって、使用するねじ穴が変わります。
- ・充電器のACアダプターは接続してから取り付けてください。

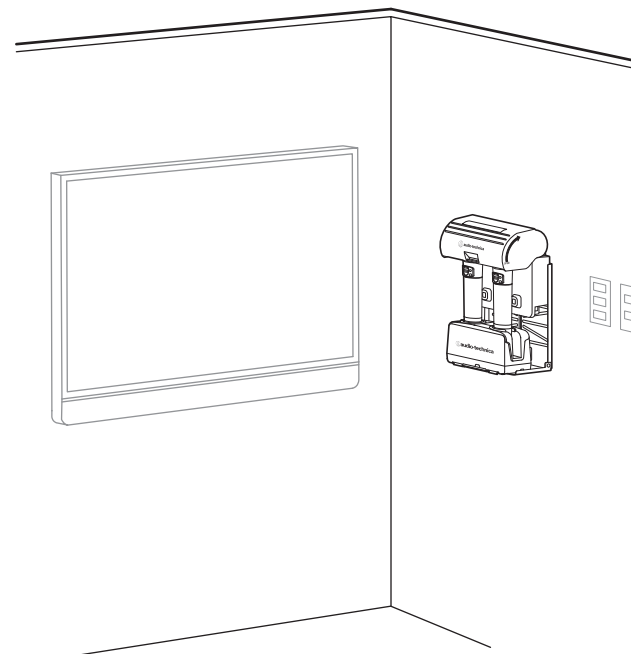
BC700 の場合



BC701 の場合



■ 設置例

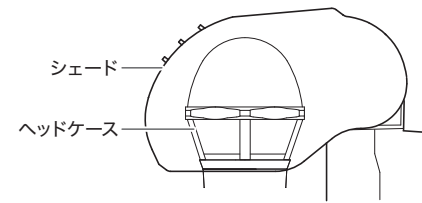


■ 充電器が埋め込まれているラックに取り付ける場合

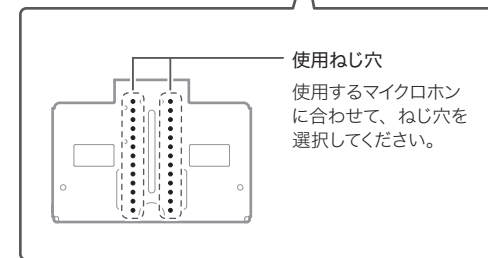
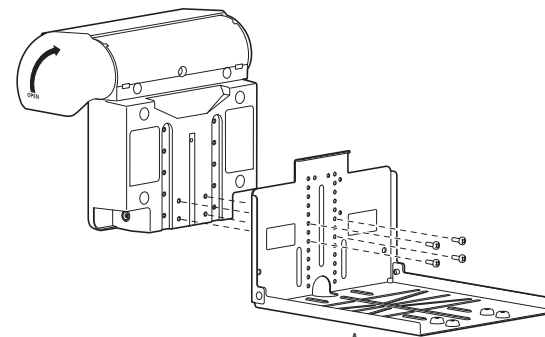
ブラケットを本体→ラックの順に取り付けます。充電器はブラケットに取り付けません。

1 ご使用のマイクロホンに合わせて付属の本体固定用ねじで本製品とブラケットを取り付け、高さを調整します。

- ・マイクロホンのヘッドケースがシェードに当たらない高さにしてください。



- ・ブラケット底面のねじ穴と本製品の背面中央のねじ穴を使用して高さを調整してください。

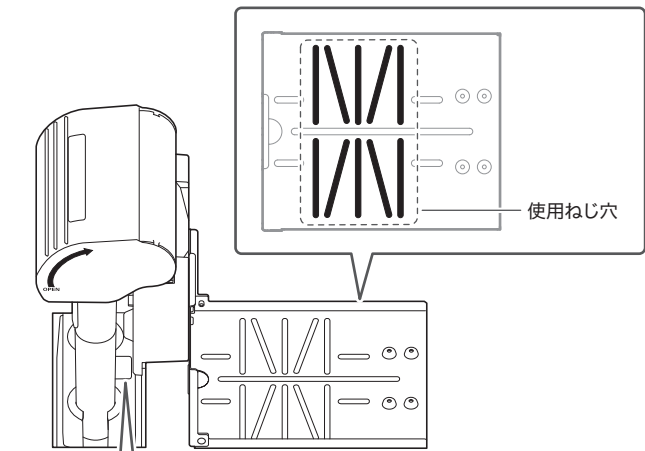


2 本製品の設置位置を決めます。

- ・ご使用のマイクロホンと本製品のセンサー部分が11mm程離れた位置に設置してください。

3 ラックにブラケットを取り付けます。

- ・取り付けるためのねじは付属していません。



次の図は実寸です。本製品の位置決めにご利用ください。

